

(別紙1)

授 免 A

平成15年度授業料超過免除実施計画書

担当者名			
連絡先	TEL (       )	(内線 :       )	
	FAX (       )		

	(A)	
	1	
学校コード	.....	学校名

	(B)	
	5	
学生区分	{ 日本人学生 : 「0」、私費外国人留学生 : 「1」}	

	(C)	
	6	
前・後期区分	{ 前期 : 「1」、後期 : 「2」}	

学 種	過 超				除 免		望 希		(円)
	人 数 (人)		金 額		額 半		額 半		
	全 額	半 額	(1)	(2)	全 額	半 額	(4)	(5)	
		(D)	7	11	16	21	32		
学 部	昼間		0	1	0	1			
	夜間		0	1	0	2			
大学院修士			0	2	0	1			
大学院博士			0	2	0	2			
大学の 専攻科	特殊教育		0	3	0	1			
	その他		0	3	9	9			
大学の 別 科	養護教諭		0	4	0	1			
	その他		0	4	9	9			
短期大学			0	6	0	1			
高等専門学校			0	7	0	1			
専 修 学 校	歯科衛生士学校		1	1	0	4			
	歯科技工士学校		1	1	0	5			

((別紙1)記入要領)

授 免 A

- 1 本票は、本通知の記の1の表の免除の対象1、2、3、4の者について、各区分ごとに算定して得た当該期の免除実施可能額(本通知の記の1の(注)参照)を超えて免除する必要のある場合のみ提出すること。
- 2 本票の作成に当たっては、様式をコピーして作成のうえ提出すること。(A4縦長)
- 3 「学校コード」欄は、(別添)「学校コード一覧」によるコードを記入すること。
- 4 「学生区分」欄は、次のコードを記入すること。  
日本人学生：「0」、私費外国人留学生：「1」
- 5 「前・後期区分」欄は、次のコードを記入すること。  
前期：「1」、後期：「2」
- 6 「超過免除希望の人数及び金額」欄は、該当する各学種ごとの超過免除希望人数及び超過免除希望金額を全額と半額に区分して記入すること。  
なお、数字は各欄ともカンマ「,」は記入せず、右詰とする。また、該当のない欄は空白にしておくこと。ただし、フロッピーディスクへ入力する際は、該当する学種の欄中に空白は作らず、0(ゼロ)を入力して必ずその学種の行を数字で連続させること。
- 7 本票には、(別紙1・参考)「平成15年度授業料免除希望者の家計状況」、(別紙2)票1、票2「平成15年度授業料免除実施状況」、(別紙2・参考)「平成15年度授業料収入予定額等調書」及び選考基準等学内関係規則を添付すること。(ただし、選考基準等学内関係規則については前年度提出分に変更がなければ、提出を要しない。)
- 8 該当のない学種については、「学種」欄を一線で消すこと。

例：

大学院博士	0	2	0	2					
-------	---	---	---	---	--	--	--	--	--